



学校だより

令和5年度 第2号
令和5年5月22日発行
横浜市立藤の木中学校
横浜市南区大岡四丁目44番1号
045-714-2817

よい自由を楽しもう

校長 笹原 洋子

ゴールデンウィークが終わり、各学年、体育祭や校外学習に向けての準備が忙しくなってきました。

1年生は部活動に本入部した生徒も多く、充実した表情で学校生活を送っています。

今年度は給食推進校として、1年生に原則、給食を注文していただくようお願いしています。現在、9割ほどの1年生が毎日給食を食べています。1年生は給食当番が給食の入った箱を1階へ取りに行き、4階のホールで各自が給食を取り、教室で食べます。1か月でその動きにも慣れたようで、片付けまでスムーズに行うことができます。

先日、全校生徒で体育祭の予行練習を行いました。穏やかな雰囲気の中、体育祭実行委員や放送の指示に従って、全校生徒がてきぱきと動いていました。競技等は一部分しか行わず、係生徒の仕事などを確認していたため、一般の生徒たちは応援席で待機している時間がありました。昨年度も中学校での体育祭を経験している2、3年生はリラックスムードで声を掛け合っていました。それを見て、1年生も楽しんでいるようでした。数人の1年生に「中学校の体育祭、どう?」と聞くと、「楽しいです!」という声がたくさん返ってきました。「どんなところが楽しいの?」と重ねて質問したら、ある生徒が「自由な感じがするからです。」と答えてくれました。生徒はどのようなことを「自由」と感じたのでしょうか。

藤の木中学校の体育祭は、すべての生徒が楽しめる体育祭を目指しています。そのために、運動能力の差だけでは勝敗が決まらず、仲間との協力がよい結果につながるという種目がほとんどです。また、全校生徒数が少なく、体育祭の進行がゆったりとした感じがあり、教員に様々な指示や注意をされなくても、放送の指示等で生徒がきちんと動くことができる体育祭だと思います。そんな、プレッシャーが少なく、自主的に動けることが「自由」と感じたのではないのでしょうか。

「自由」というのはとてもよい印象があります。しかし、「よい自由」のためには「一人ひとりが責任を果たす」という条件が付いてきます。「悪い自由」は数名の人だけがよい思いをし、他の誰かが我慢をしなければいけない場合があります。藤の木中が目指す「すべての生徒が楽しめる体育祭」になるよう、各自が適切に判断し、より望ましい行動をしてほしいと願っています。

この学校だよりがお手元に届く頃には終了している体育祭は目指したのものになったと信じています。そして、体育祭で実感した「よい自由」を、各学年の校外学習でも楽しみましょう。

最後になりましたが、地域の皆様、体育祭へのご理解、ご協力、本当にありがとうございました。

